

# 令和3年度 市政アンケート調査 第3回結果報告(概要版)

## 1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
  - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民656人(就任時)
- ①選考方法: 住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
  - ②任期 : 令和3年4月16日から令和4年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 郵送または電子メール
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

## 2. 第3回調査の概要

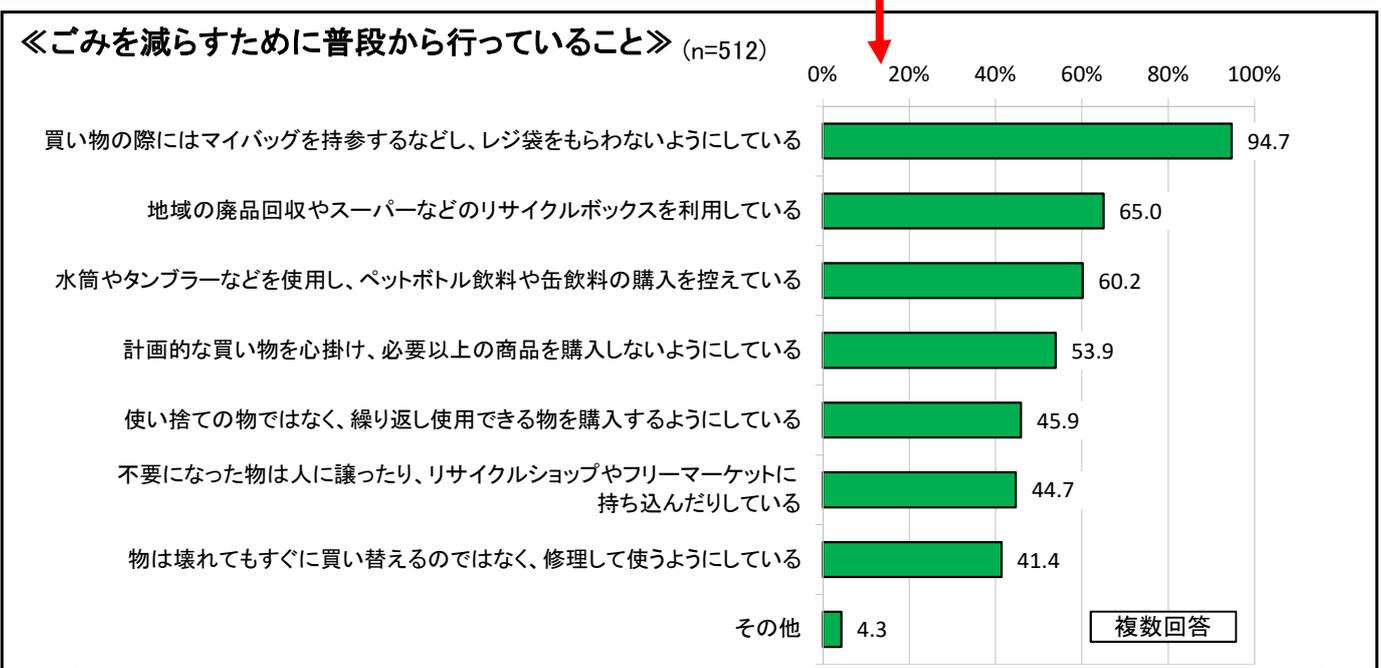
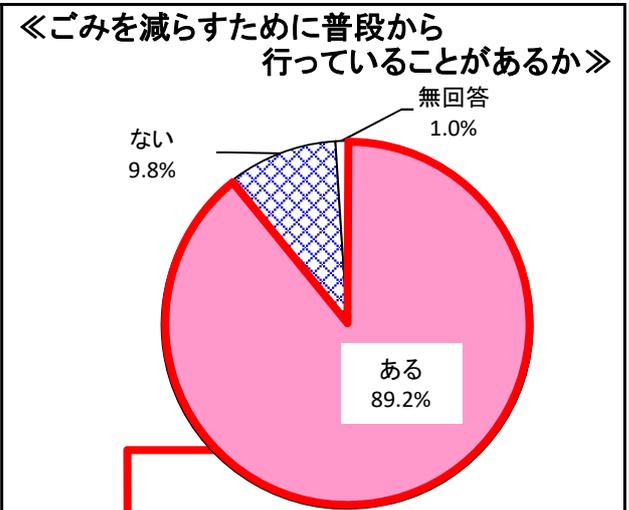
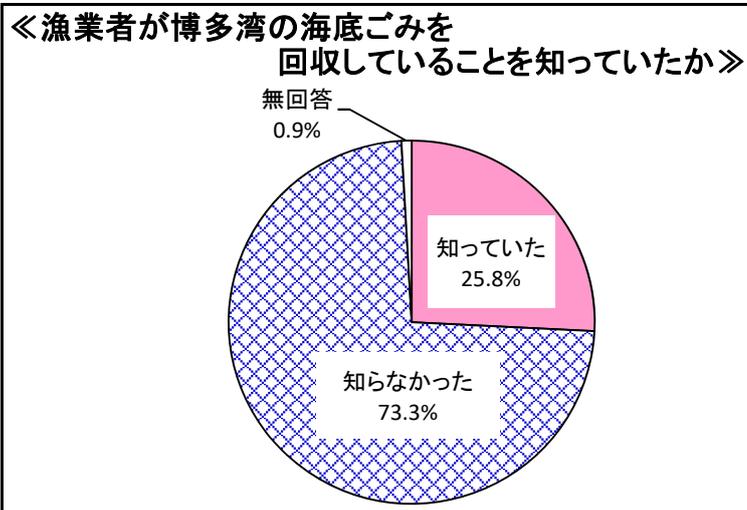
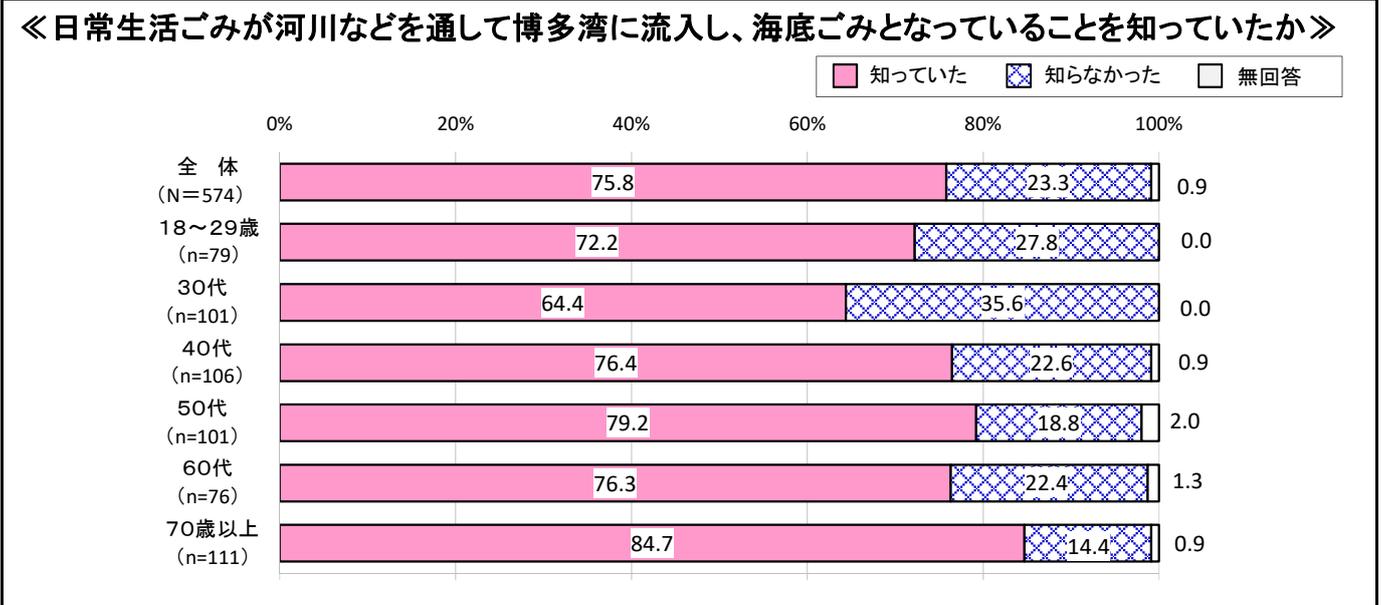
- (1) 調査時期
- 令和3年8月10日から8月24日まで
- (2) 調査対象者数
- 653人
- (3) 回答者数
- 574人
- (4) 有効回答率
- 87.9%
- (5) 調査テーマ
- ①「博多湾の海底ごみ」について
  - ②「省エネルギーと再生可能エネルギー」について
  - ③「モラル・マナー」について
  - ④「自転車損害賠償保険等への加入状況」について
  - ⑤「情報通信の利用状況」について

## 3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

# ①「博多湾の海底ごみ」について (N=574)

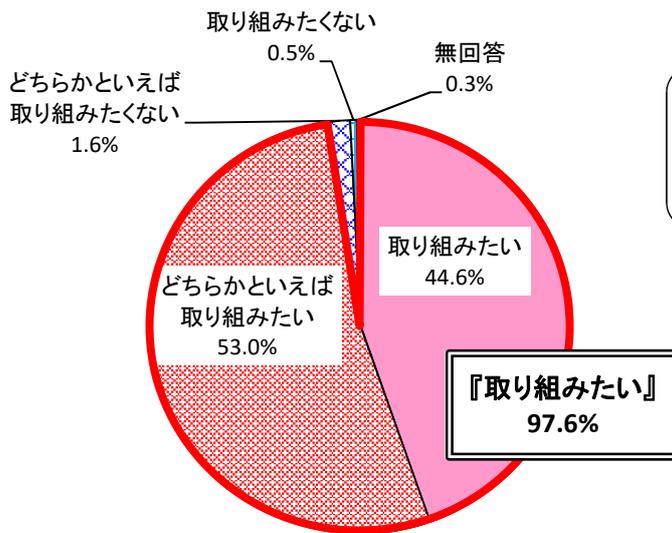
※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの  
 例:『取り組みたい』=「取り組みたい」+「どちらかといえば取り組みたい」



「買い物の際にはマイバッグを持参するなどし、レジ袋をもらわないようにしている」と回答した方が94.7%と最も多くなりました。

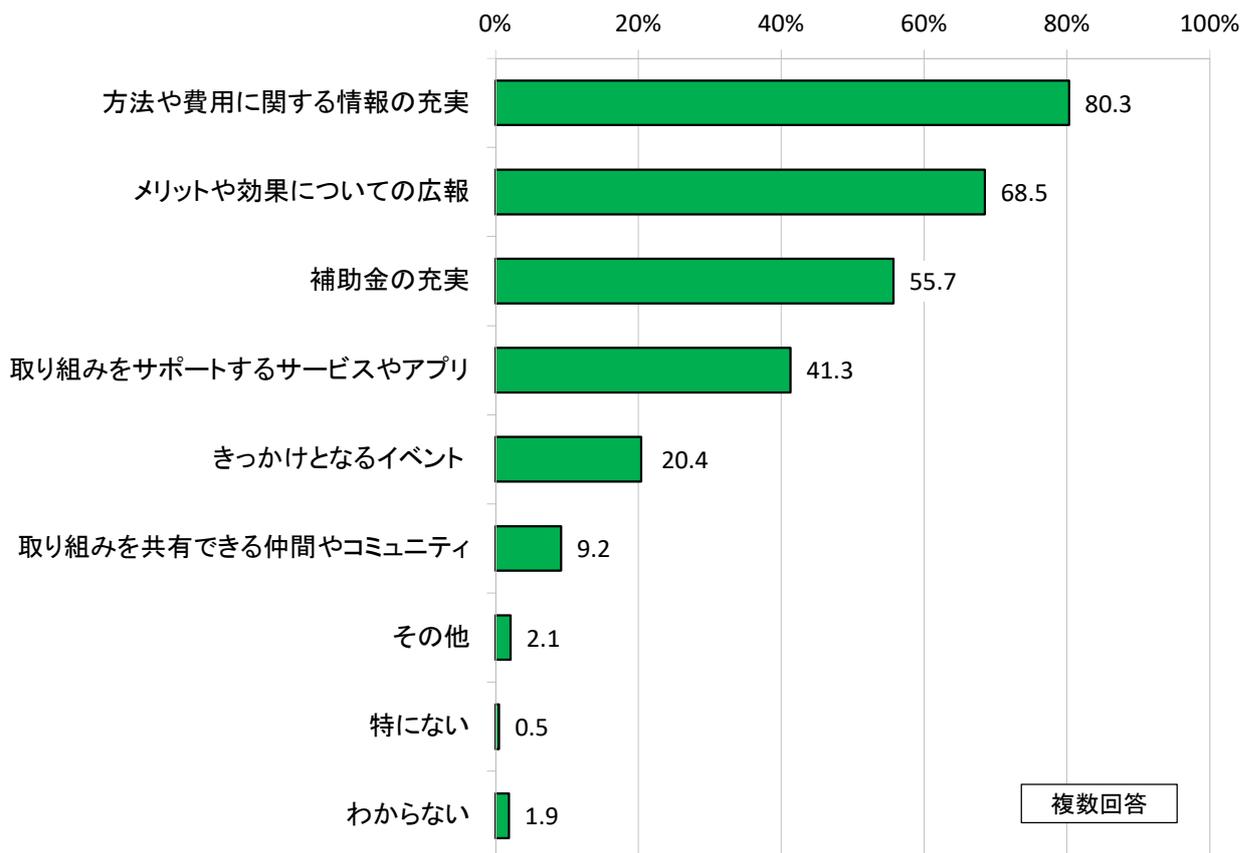
## ②「省エネルギーと再生可能エネルギー」について(N=574)

### 《省エネ・再エネ行動に取り組みたいと思うか》



『取り組みたい』と回答した方は97.6%となりました。

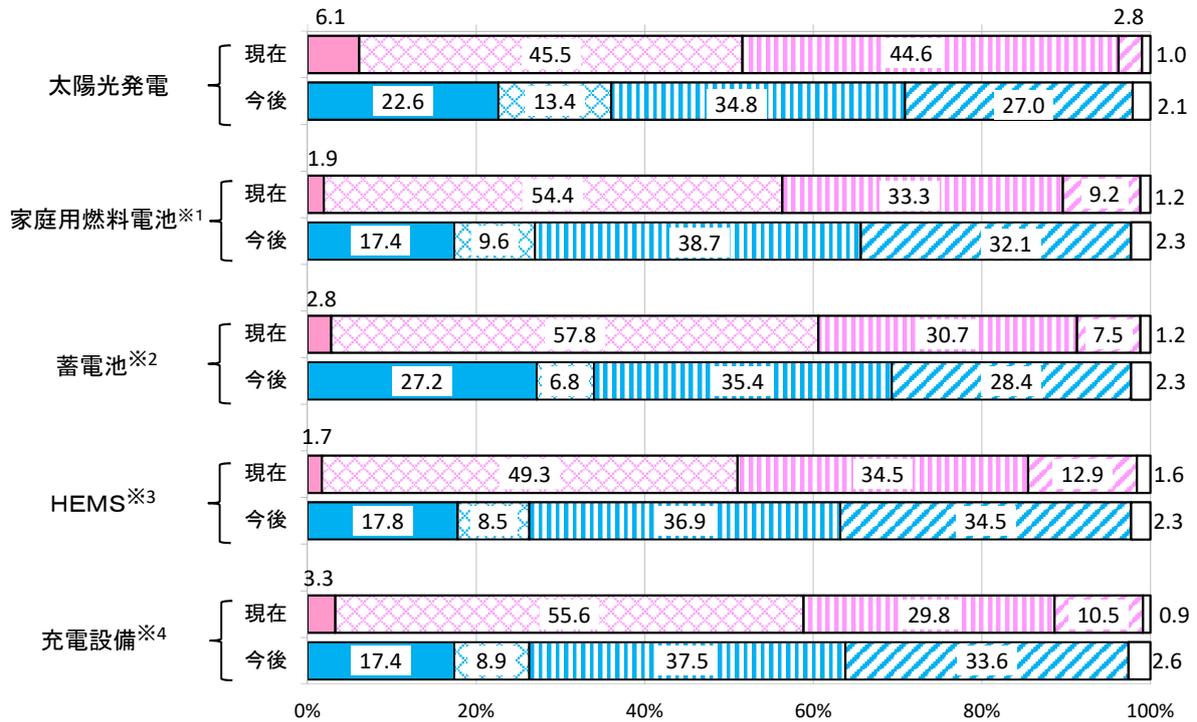
### 《どのようなことが行われれば、省エネ・再エネ行動に取り組みやすくなるか》



「方法や費用に関する情報の充実」と回答した方が80.3%と最も多く、次いで「メリットや効果についての広報」が68.5%、「補助金の充実」が55.7%という結果になりました。

## 《省エネ・再エネ機器の設置状況と今後の設置意向》

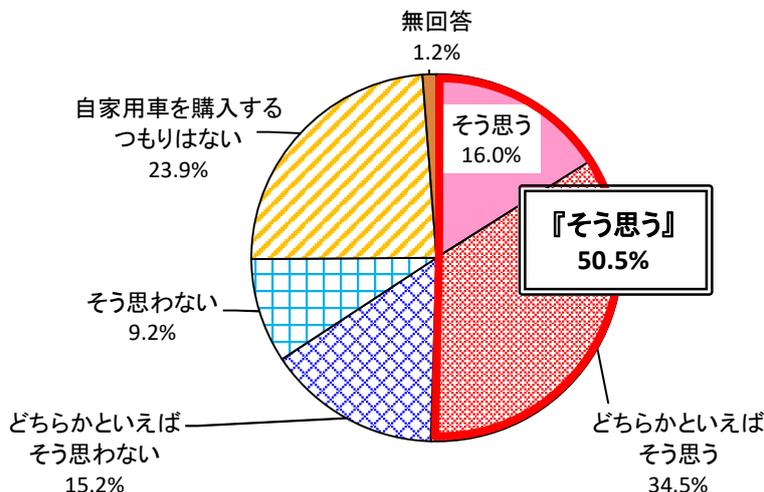
【現在】	■ 設置している	■ 設置していない	■ 設置できない	■ わからない	□ 無回答
【今後】	■ 設置したい	■ 設置したくない	■ 決めていない	■ わからない	□ 無回答



- ※1 家庭用燃料電池（エネファーム）  
：ガスから水素を取り出して発電と給湯に利用する機器
- ※2 蓄電池  
：電気を蓄えておき、必要なときに電気を使うことができる機器
- ※3 HEMS（ホーム エネルギー マネジメント システム）  
：電気の使用状況の確認や、照明や空調などの電気機器の制御をする戸建用システム
- ※4 充電設備  
：電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に充電するための設備

今後「設置したい」と回答した方が、蓄電池で27.2%、太陽光発電で22.6%、HEMSで17.8%となりました。

## 《自家用車の購入・買い替え時に、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しようと思うか》

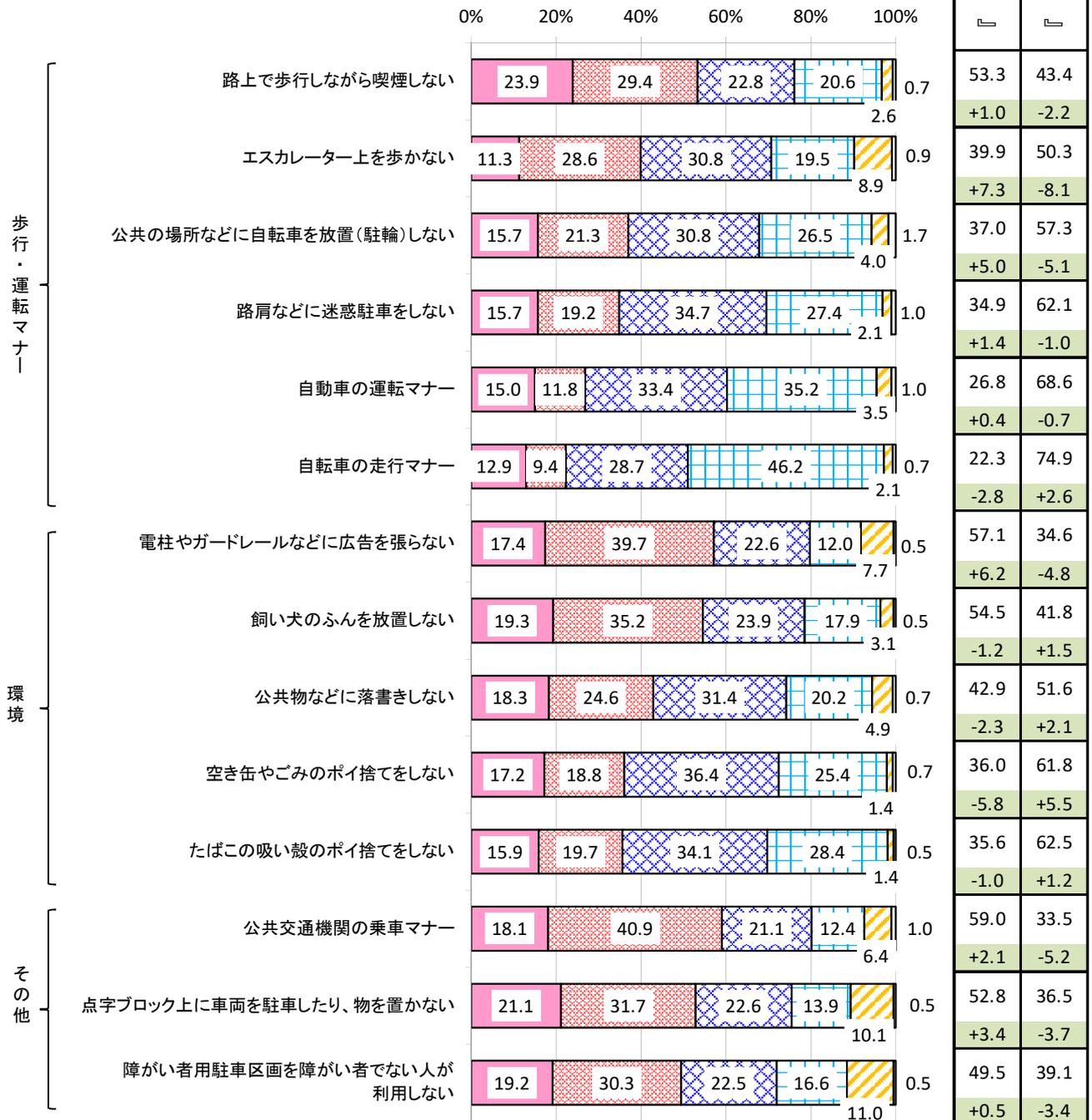
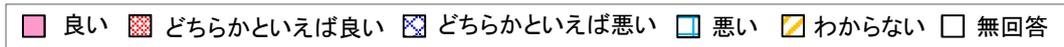


『そう思う』と回答した方は50.5%となりました。

### ③「モラル・マナー」について(N=574)

#### 「福岡市のモラル・マナーの現状」

下段：令和元年度とのポイント差



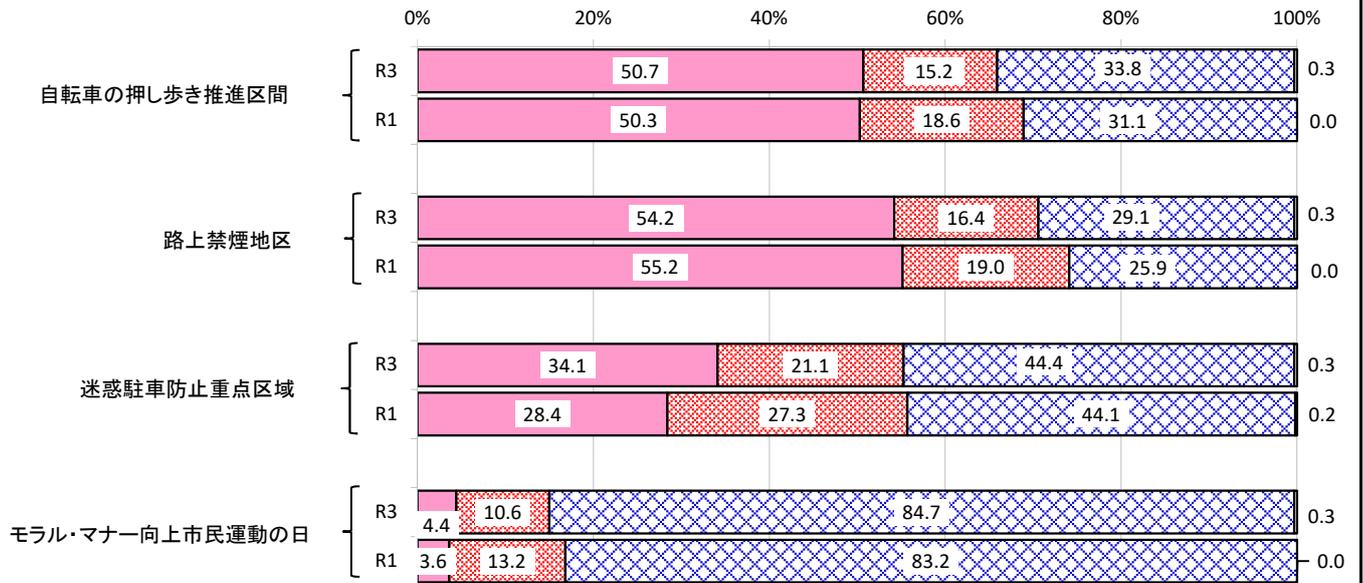
『良い』と回答した方は「公共交通機関の乗車マナー」で59.0%と最も多く、『悪い』と回答した方は「自転車の走行マナー」で74.9%と最も多くなりました。

『良い』の数値を令和元年度と比較すると、「エスカレーター上を歩かない」が最も大きく改善しており(+7.3ポイント)、次いで「電柱やガードレールなどに広告を張らない」(+6.2ポイント)、「公共の場所などに自転車を放置(駐輪)しない」(+5.0ポイント)となっています。

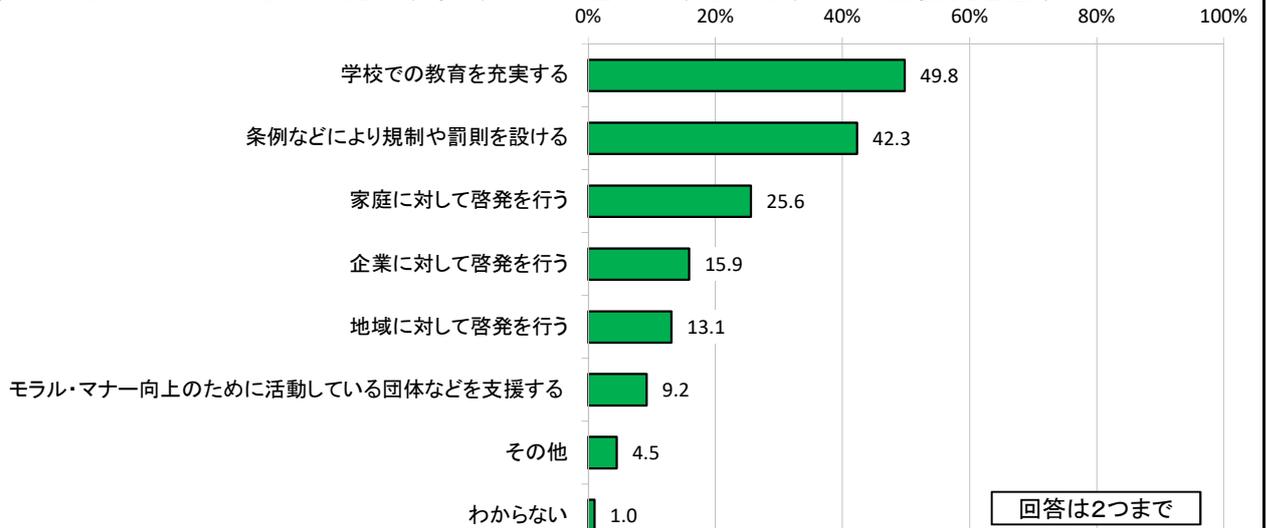
### 《モラル・マナー条例などで定められている下記の事項を知っていたか》（過去調査との比較）

R3 (N=574) R1 (N=553)

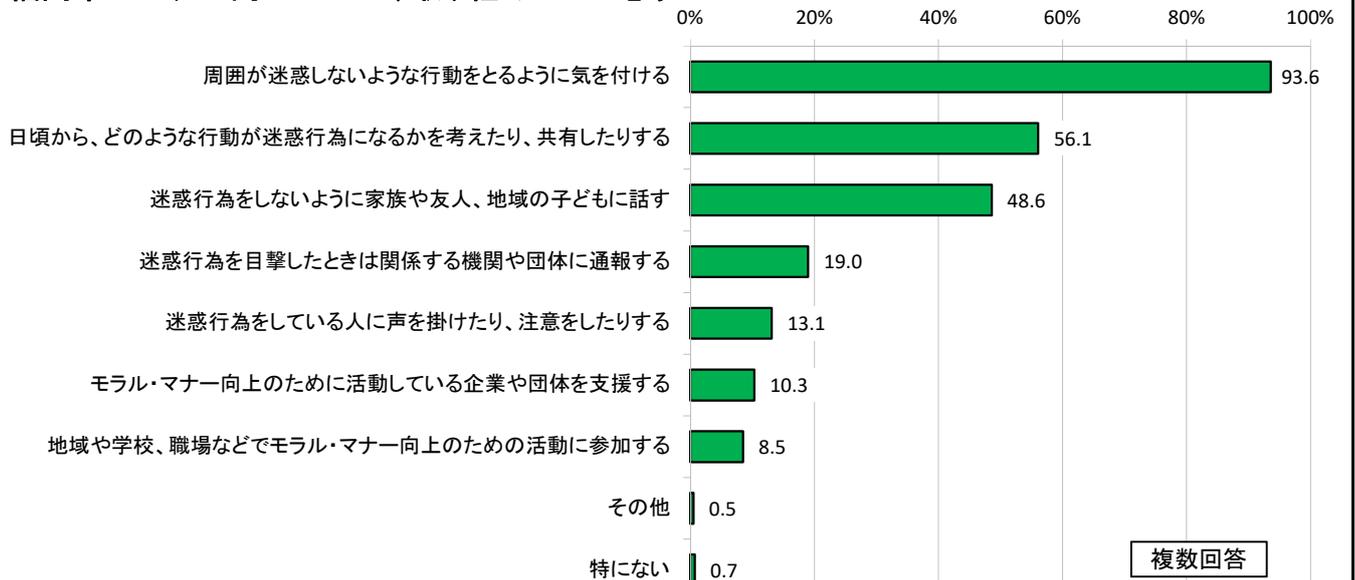
■ 知っていた
 ■ 名称は知っていたが、内容までは知らなかった
 ■ 知らなかった
 ■ 無回答



### 《福岡市のモラル・マナー向上のため、市(行政)のどのような取り組みが重要だと思うか》

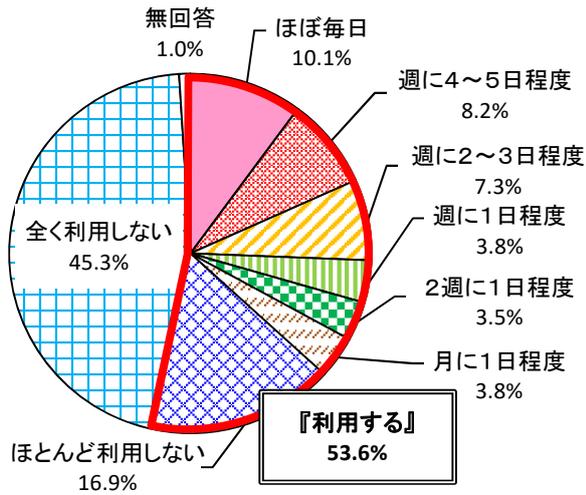


### 《福岡市のマナー向上のため、取り組みたいと思うこと》



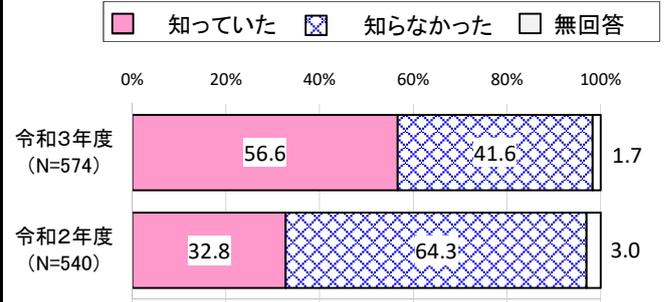
#### ④「自転車損害賠償保険等への加入状況」について(N=574)

##### 《自転車の利用頻度》



全体の約半数以上の方が自転車を利用していることがわかりました。

##### 《自転車損害賠償保険等への加入義務付けの認知度》 (過去調査との比較)



「知っていた」と回答した方の割合は、全体の56.6%で、令和2年度(32.8%)に比べ、23.8ポイント上昇しています。

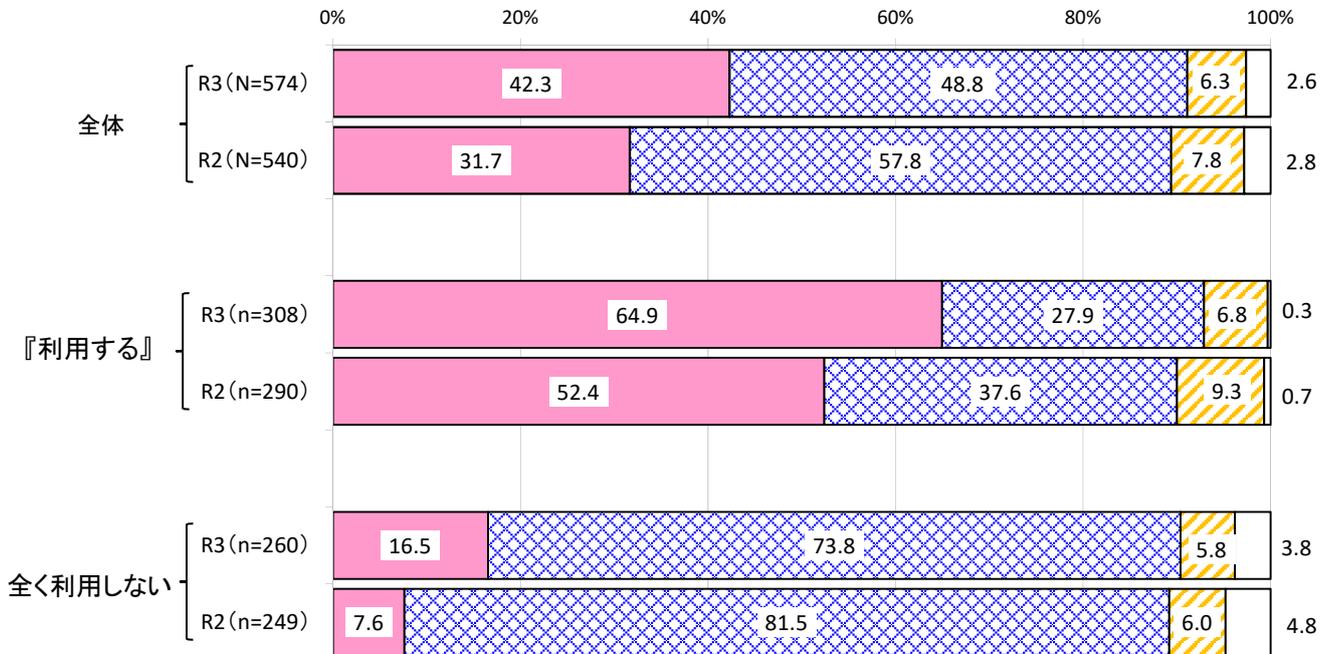
※令和2年10月1日「福岡市自転車の安全利用に関する条例」一部改正により、自転車損害賠償保険等への加入が義務付けられました。

##### 《自転車損害賠償保険等の加入状況》

(過去調査との比較)



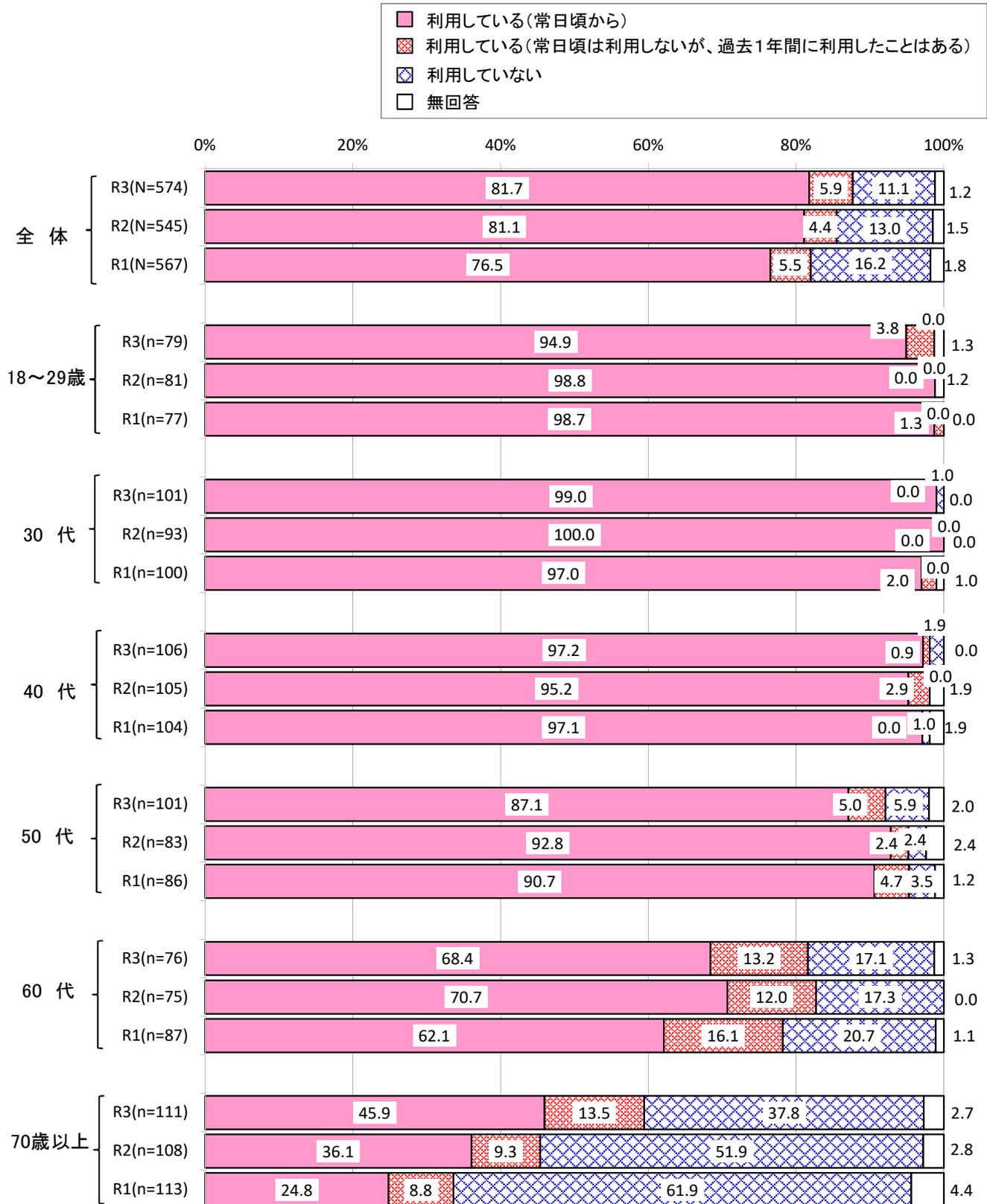
##### ◆自転車利用有無別



自転車利用有無別にみると、自転車を『利用する』方のうち、64.9%が加入しており、令和2年度(52.4%)に比べ、12.5ポイント上昇しています。

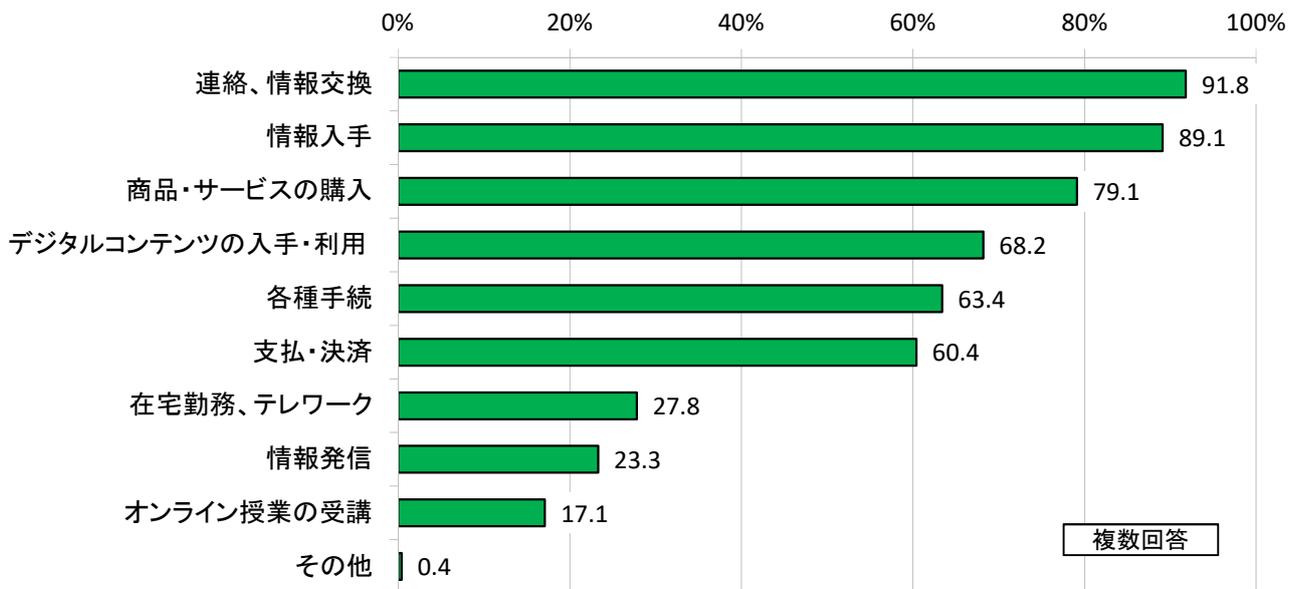
## ⑤「情報通信の利用状況」について(N=574)

《インターネットの利用状況》年代別(過去3年間の調査と比較)



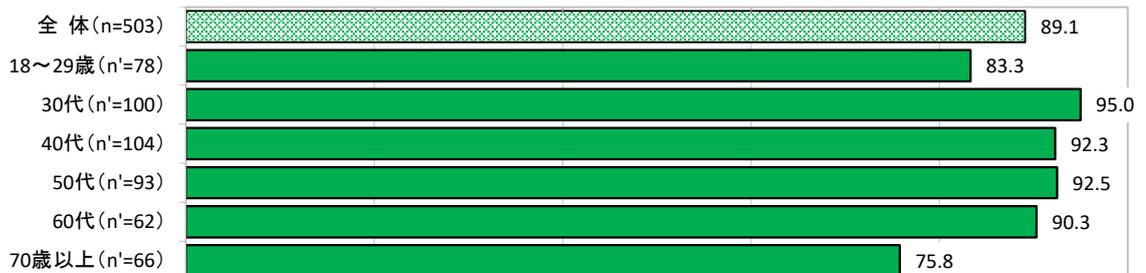
70歳以上では「利用している(常日頃から)」と回答した方は令和元年度で24.8%、令和3年度で45.9%となり、21.1ポイント上昇しています。

《インターネットの利用目的》 ※『利用している』方が回答(n=503)

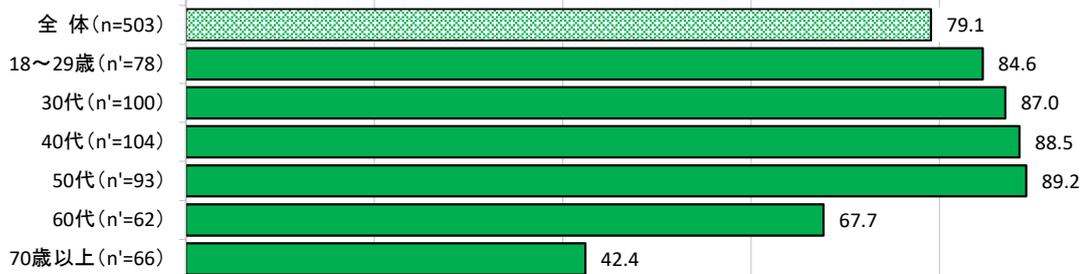


◆年代別(一部抜粋)

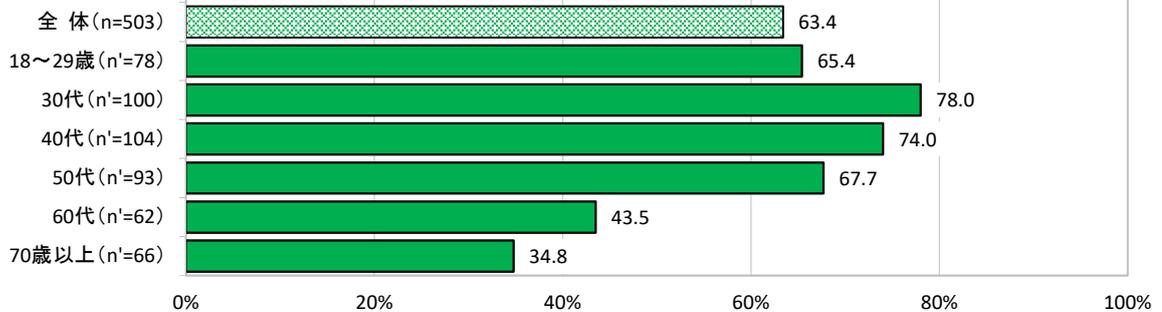
■情報入手



■商品・サービスの購入

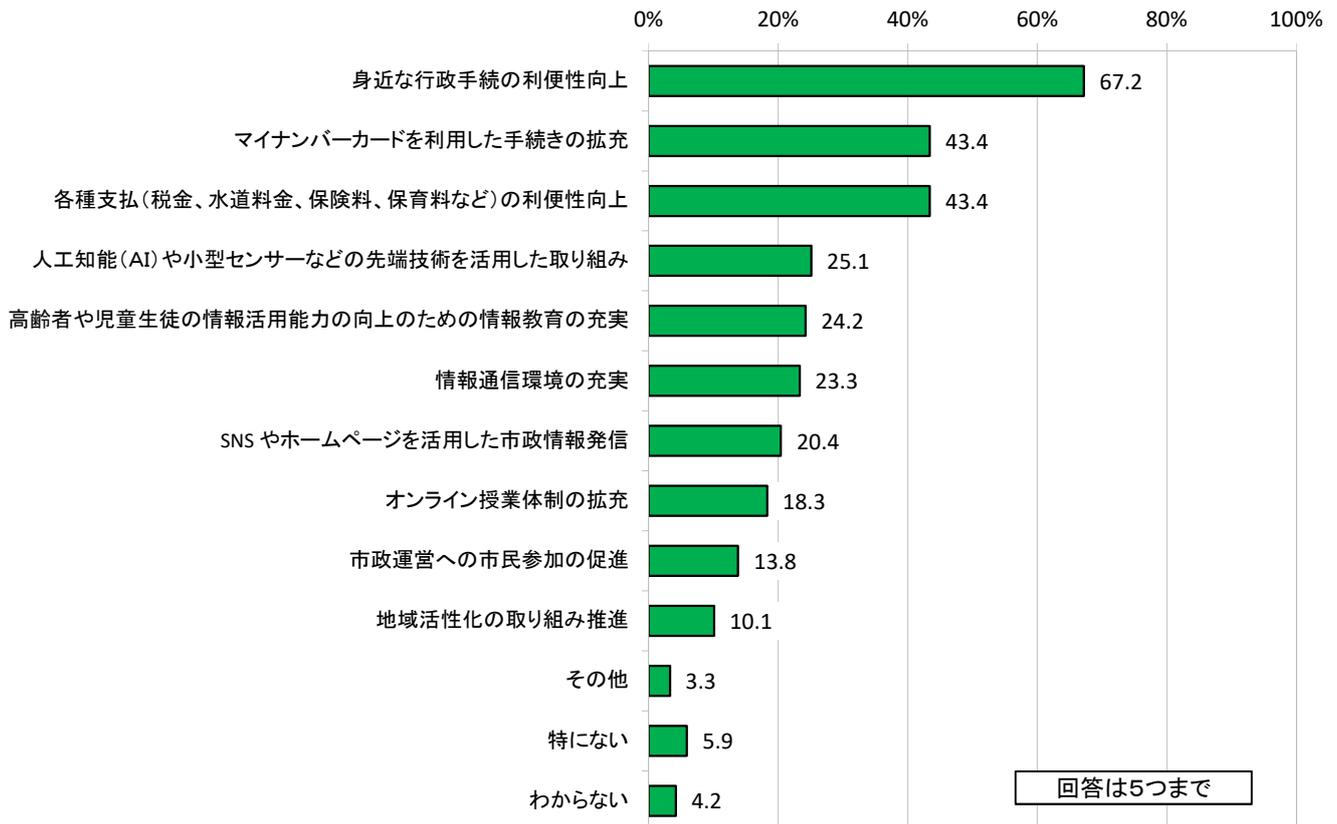


■各種手続



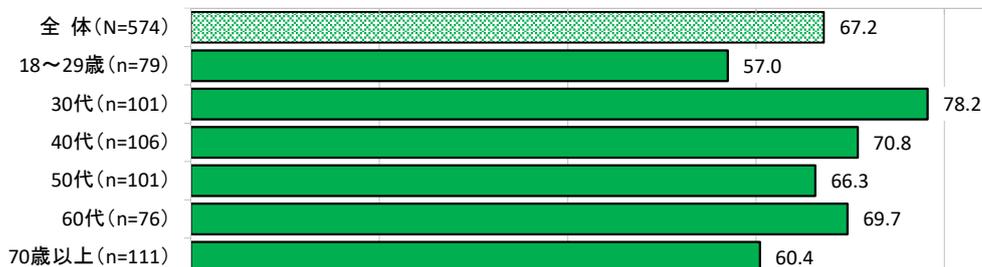
年代別にみると、「情報入手」はいずれの年代においても7割を超える結果となりました。「商品・サービスの購入」では50代が89.2%、「各種手続」では30代が78.0%と最も高い割合となりました。

## 《今後期待する福岡市のインターネットを利用した情報化の取り組み》



### ◆年代別(一部抜粋)

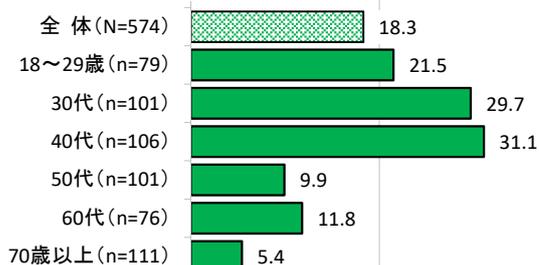
#### ■身近な行政手続の利便性向上



#### ■高齢者や児童生徒の情報活用能力の向上のための情報教育の充実



#### ■オンライン授業体制の拡充



年代別にみると、「身近な行政手続の利便性向上」は、いずれの年代においても5割を超える結果となりました。  
 「高齢者や児童生徒の情報活用能力の向上のための情報教育の充実」は、70歳以上の割合が最も高くなっています。  
 「オンライン授業体制の拡充」は、40代が31.1%で、最も高い割合となりました。

0% 20% 40% 60% 80% 100%